

宇土市庁舎建設だより (創刊号)

庁舎建設に関する様々な情報をお知らせしていきます。

これまでの経緯

平成 27 年 9 月～平成 28 年 1 月
外部委員による宇土市庁舎建設検討委員会を設置

学識経験者及び市内団体の代表者等 7 人からなる検討委員会を設置し、宇土市庁舎建設基本構想(案)について審議が行われた。(全 3 回)

平成 28 年 2 月
宇土市庁舎建設検討委員会から答申

庁舎の在り方については補強ではなく建て替えを行い、また十分に市民参画を図りながら進めていくよう答申がなされた。

平成 28 年 4 月
庁舎建設に関するアンケート調査の実施

宇土市内に在住する満 20 歳以上の男女 2,000 人を無作為に抽出し、アンケートを送付。その日の夜に熊本地震が発生。アンケートの回答者(416 人)のうち、7 割の方が「防災拠点」としての機能を望んでいるとの結果が出た。

平成 28 年 11 月～12 月
宇土市庁舎建設市民ワークショップの開催



公募市民、各種団体又は法人の関係者等及び本市職員の計 15 人でワークショップを

新庁舎の建設には市民の皆様や市議会のご理解を得ながら進めることが大切であることから、この度「宇土市庁舎建設だより」を発行していくこととしました。

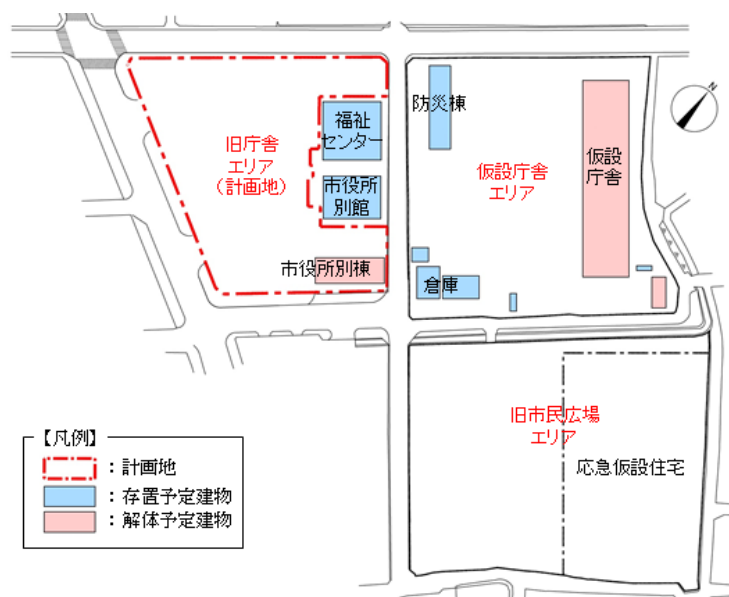
1. 庁舎の基本理念

市民の安心・安全を確保するための防災拠点であることはもちろんのこと、市民交流や集いの場となり、長く親しまれる施設とするため、庁舎建設の基本理念を次のとおりとします。

- ①市民の安心・安全の拠点となる庁舎
- ②利用しやすく親しみを感じる庁舎
- ③まちづくりの拠点となる庁舎
- ④環境にやさしい庁舎

2. 建設地

熊本地震で被災した庁舎の再建を行う上で最大限の国の財政支援を受けるためには、現在地での建て替えが条件となります。旧庁舎エリア、旧市民広場エリアを多角的に比較検討した結果、旧庁舎エリアを新庁舎の建設地として選定しました。



[宇土市新庁舎建設基本計画から]

開催し（全4回）、新庁舎に備えるべき機能として必要なものについて様々な意見が出された。

※答申書及びアンケート調査の詳細、ワークショップでの意見は「宇土市庁舎建設基本構想 資料編」を参照

**平成 29 年 3 月
宇土市庁舎建設基本構想の策定**

外部の委員で構成される宇土市庁舎建設検討委員会からの提言や市民アンケート、市民ワークショップでの意見等を参考に、基本構想を策定した。

**平成 29 年 9 月～
市議会新庁舎建設に関する特別委員会の設置**

新庁舎建設の審査・検討を目的とした市議会特別委員会が設置された。

**平成 30 年 3 月
宇土市新庁舎建設基本計画の策定**

基本構想をより具体化し、事業の根幹となる新庁舎の位置、規模、事業費、事業手法等を明記した基本計画を策定した。

3. 基本・実施設計の受託事業者が決定しました！

公募型プロポーザルで最優秀者となりました「久米・桜樹会設計共同企業体」と平成 30 年 10 月 5 日に宇土市庁舎建設基本設計・実施設計業務の契約を締結しました。

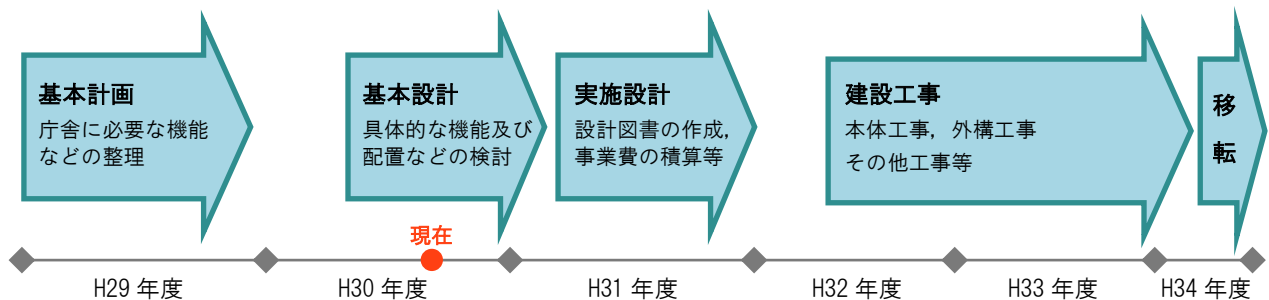
契約までの経緯は以下のとおりです。

- 平成 30 年 6 月 宇土市庁舎建設基本設計・実施設計者プロポーザル評価委員会の設置
評価委員会にて、実施要領及び評価基準の策定
- 7 月 公募型プロポーザル方式による公告開始
- 9 月 5 者によるプレゼンテーションを実施し、評価委員会で、最優秀者を「久米・桜樹会設計共同企業体」に選定
- 10 月 「久米・桜樹会設計共同企業体」と契約を締結

※公募型プロポーザルとは、設計者を選定する際に、公募した複数の者に企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定する方式です。

4. 今後のスケジュール

今後は、以下のようなスケジュールで庁舎建設事業を進めてまいります。現在は、平成 32 年度の工事着手に向けて庁舎の基本・実施設計を進めています。



【ご意見・お問い合わせはこちらまで】

〒869-0492 熊本県宇土市浦田町51番地
 宇土市役所 企画部 企画課 企画政策係
 電話 0964-22-1111 内線804
 FAX 0964-22-2928 Eメール kikaku01@uto.kumamoto.jp

